

令和6年度 第1回学校運営評議会 議事録

日時 2024年5月1日 15時～

場所 会議室

(1) 開会のことば (教頭)

(2) 校長あいさつ

- ・コミュニティースクールの説明
- ・職員紹介
- ・学校紹介 (地域連携など)
- ・地域学校連携本部としての活動
- ・図書館の活性化についてのアイデア

(3) 学校運営協議会委員任命

- ・校長から1名ずつ任命状の交付。

(4) 委員紹介 (自己紹介)

(5) 日程等説明 (事務局教頭)

(6) 学校の紹介 (園芸科生徒)

- ①園芸科生徒の発表
- ②質疑応答

(委員) 納豆菌と酵母を撒いている。チップを合わせると分解はしてくれるのか？

(生徒) 分解まではいかない。あくまで活性化させるだけ。

(委員) ホタテの殻を入れるとより良い。おいしくもなる。

(7) 会長及び副会長及び地域コーディネーターの選出について (教頭)

- ・事務局からの推薦

| | |
|------------|--------------|
| 会長 | 佐久間委員 (本日欠席) |
| 副会長 | 小澤委員 |
| 地域コーディネーター | 根本委員 |

(8) 議事 (ここから議長は副会長に)

ア 令和6年度 学校運営の基本方針等について

① 学校長の説明

(校長)

- ・生徒の現状…おとなしく、勉強が苦手な生徒が多い。何らかの形で困難を抱えている生徒が多いため、より丁寧に生徒指導を行う。

- ・働き方改革…職場のストレスチェックにおいては75（標準100）。風通しの良い職場になっている。
- ・生徒への対応…一人で抱え込まずに組織で対応。抱え込まない。
- ・キャリア教育…昨年度進路決定率100%。引き続き将来を選択する能力など進路決定に関して皆様には、お力添えをお願いしたい。
- ・資格取得…最低でも一つは取得。自動車に関する検定や農業検定においても昨年度より合格率は上昇。
- ・校則の見直し…皆様からもご意見をいただき、時代に沿ったものにしていく。
- ・寮生活について…同じ釜の飯を食うではないが、寮生活を通して周囲と助け合いながら成長していければと考えている。
- ・部活動…自動車部が全国7連覇。
- ・生徒募集…様々な手で募集は行っているが、生徒数は減少しているのが現状。
生徒の自己有用感、自己肯定感を高めるためにはどうしたらよいか、職員とも話し合いを重ねているところではあるが、皆様のお力添えをお願いしたい。また、お時間のある時に学校の様子を見に来ていただきたい。
学校方針としては、①人間性 ②勤労観 ③SDGs の3点を育てたい生徒像として挙げている。

②質疑応答

(議長)

これに関して質疑応答ある方いらっしゃいますか。

(委員)

- ・寮について、入寮は義務なのか。義務であるならそれは何月、回数は何回なのか？

(校長)

・農業経営者育成校としての役割があるため、園芸科の一年生が入寮している。冷暖房装置の故障もあり、夏季冬季を避けて30泊を予定。

(委員)

- ・理解はできるが、義務入寮なのか？

(校長)

入寮は原則義務としている。

(議長)

他に何か質問がある方はいらっしゃいますか。

(委員)

寮はこの学校の特色であるので続けていくのが良いと思う。

3学科の募集人数と応募人数はどのくらいなのか。

(校長)

各学科40人募集なのに対して現状は定員割れをしている。

その点は課題大きなできていると考えている。

(委員)

学校説明会や体験入学について、標記の人数は延べ人数なのか。リピーターを入れないとどの程度なのか。

(校長)

リピーター(同一の人物)も含めた人数。

(議長)

他に何かある方いらっしゃいますか。

(委員)

園芸科の生徒の「魅力を発信できた」という言葉に感銘を受けた。

そのような魅力をもっと発信していくべきではないか。

(議長)

他に何かある方いらっしゃいますか。

(委員)

中学校に対しての情報発信などはないのか。

今までは中学3年生に対して説明会を行っていたが、早めから行うことで生徒への意識づけにつながるため、今年度からは2年生に行く予定でいる。

(議長)

他に何かある方いらっしゃいますか。

(委員)

生徒の入学数と情報発信が比例しない。紙面などでもう少しPRをする or 発信の仕方を工夫する必要があると感じる。今年度、小御門かわら版の充実を考えている。

③学校運営基本方針の承認

(議長)

令和6年度学校運営の基本方針について、反対や意見のある方はいらっしゃいますか。

(議長)

反対はないようなので、令和6年度学校運営の基本方針について承認されました。

イ 各分掌の取り組み(教務部。生徒指導部・進路指導部)

教務部

鹿又

実施内容については、中学校への進路説明会への参加や学校体験入学の実施、佐倉市での説明会の参加。中学校には約80校訪問を行い、募集人数の増加に努めた。

生徒指導部

北川

生徒に対しての声掛けを実施。今年度も継続していく。

希望進路の実現のために、規範意識を持たせるように心掛けている。

問題が起きてからではなく、起きる前に気づき、考え、判断する能力を養っていく。

地域の方にはご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思うが、生徒へのお声掛けをお願いしたい。

進路指導部

神保

1学年から3学年まで進路ガイダンスを行っている。(企業、専門学校などを学校に招く)

今年度も昨年と同様、進路決定率100%を目指している。

質疑応答

(委員)

説明会への保護者の参加率はどのくらいなのか。

(鹿又)

最近では8割程度の保護者が参加している。

(委員)

高校生は、保護者の影響が大きいいため、保護者の参加やそこでの保護者の信頼獲得が必要だと考える。

(委員)

農業科を卒業し、農業の職に就く生徒はどの程度いるのか。

(校長)

卒業後すぐに農業に就いた生徒はいないが、農業大学校に進学した生徒が2名。その後、家業を継ぐなどをして農業職に就く予定。

(9) 各分科会協議 (教頭)

(議長)

三分科会に分かれ、活動案とプロジェクトリーダーについて話し合う。

(10) 各分科会報告

学校教育活動支援

(委員)

- ・3年生の面接指導
- ・寮の教養講座

・教職員の授業などの配信を通した魅力発信。

上記の点について、皆様のお力添えをお願いしたい。

広報推進

(委員)

3つの科はそれぞれ特徴的であり、様々な実績を残している。それを発信する際、広報紙を発行しているが、我々の目線ではなく、中学生に近い目線を取り入れ必要がある。そのため、生徒会などの生徒と意見を交換し、より中学生に見てもらえるようなものを作り上げたいと考えている。

予算に関しては、PTA や学校側と相談する。

どのようなものであったら中学生に読んでもらえるのか、それを理解した上で、今月中にももう一度広報推進の会議を行う。

地域連携推進

(委員)

学校運営協議会、小御門祭、課題研究発表会などに参加。

少人数できめ細かい指導を行うことが大切。

(教頭)

現在の話し合いをもとに、より良い学校運営へと改善を行っていく。

本日の議事録を HP に公開。校閲にご協力をお願いしたい。

(11) その他

学校運営協議会の開催予定について (教頭)

(12) 閉会のことば